

授業科目名	教職論
科目番号	CB23431
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春AB秋AB 金4
担当教員	朝倉 雅史
授業概要	教職の意義、教員の役割、職務内容について、原理論的アプローチ、制度論的アプローチ、社会論的アプローチという三つの視角から概説する。
備考	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	教師の仕事の特質が理解できる。 教師の課題解決に必要な考え方と行動が理解できる。 教職に関わる制度が理解できる。 教職に関わる改革の特質と課題が理解できる。
授業計画	<p>本学教職課程において中学校・高等学校に焦点を当てた「教職論」を開設していることに鑑み、本授業では特に小学校段階を中核に据え、必要に応じて参加型の授業を実施する。また、学校段階を広く扱う場合には、より発展的な内容を加えた展開とする。</p> <p>第1回 なぜ教員を目指すのかを改めて問う 第2回 教員の専門性・専門職性とは何か(1)-専門性を中心に 第3回 教員の専門性・専門職性とは何か(2)-専門職性を中心に 第4回 教員の専門性・専門職性とは何か(3)-裁量権を考える 第5回 教員の労働者論・聖職者論を考える(1)-労働者論を中心に 第6回 教員の労働者論・聖職者論を考える(2)-聖職者論を中心に 第7回 教育公務員としての教員(1)-信用失墜行為を中心に 第8回 教育公務員としての教員(2)-兼務・兼職を中心に 第9回 「開放制教員養成制度」を再検討する(1)-歴史的経緯 第10回 「開放制教員養成制度」を再検討する(2)-今日的課題（以上、春AB） 第11回 小学校における「専科教員」の意義を考える 第12回 特別免許状の意義を考える 第13回 小学校における教科指導の課題 第14回 小学校でのキャリア教育の意義と必要性 第15回 小学校でのキャリア教育の実践(1) 第16回 小学校でのキャリア教育の実践(2) 第17回 今日的課題への対応(1)-いじめ問題への対応 第18回 今日的課題への対応(2)-不登校問題への対応 第19回 今日的課題への対応(3)-特別支援教育の充実 第20回 「教職論」を振り返る-総合的なディスカッション（以上、秋AB）</p>
履修条件	
成績評価方法	<p>期末試験の結果（40点）、不定期に求めるミニレポートの内容（30点）、授業への参画の程度（30点）で評価する。</p> <p>（必要な出席回数に達しない場合には、欠席の理由にかかわらず単位は認定しません。その場合は翌年度再履修となります。）</p>
学修時間の割り当て	講義40分、グループワーク及びディスカッション35分とする。授業前に前回授業の内容

び授業外における学修方法	をまとめておくこと、また、予告されたディスカッションテーマについての情報を収集して、授業に臨むこと。
教材・参考文献・配付資料等	授業中に指示する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	授業中の積極的な発言・質問,ディスカッションやロールプレイへの意欲的な参画を期待します。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	